

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0572505709		
法人名	社会福祉法人 中央会		
事業所名	安心サポート矢島		
所在地	秋田県由利本荘市矢島町城内字八森下481番地1		
自己評価作成日	令和4年9月9日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.akita-longlife.net/evaluation/">http://www.akita-longlife.net/evaluation/</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1		
訪問調査日	令和4年10月5日		

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

お一人おひとりが、今まで歩いて来られた生活を大切にすると共に、それを支えて来られたご家族の思いも大切に、自分らしくお過ごしいただけるよう努めております。家庭的な雰囲気を大切に、季節を感じていただける環境作りにも心がけております。一緒に生活している事で、お互いに声をかけあい、すぐに返事ができる関係性も大事にしています。新型コロナウイルス感染症対策の為、会いたい人や出かけたかった所に、思うように行けない日々が続いておりますが、毎日の生活が、楽しく充実したものに近づける様にとっております。また、職員一人ひとりが、やりがいを持ち、共に、笑顔で過ごす事ができる事業所でありたいと思っております。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

新型コロナウイルス感染症は、現在も収束の見えない状況ですが、昨年からのドライブによる外出支援(桜見・紅葉見学)を実施しています。場所や人混みなどにも考慮しながら、車内見学で楽しんだこともありました。テレビ体操の他、職員の提案による独自の体操も組み入れながら、毎日行われています。日常生活の中で、利用者との会話を通し、一人ひとりの生活歴にも配慮しながら、個々に合う言葉掛けをし、個別及び自立に向けた支援が実施されています。由利高原鉄道の例年行事である「かかし列車」に今年もみんなで作った等身大の案山子を出品し、地域との交流が続けられています。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~46で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
47	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:19,20)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	54	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:8,9,15)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
48	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:14)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	55	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,16)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
49	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:19)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	56	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
50	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:30)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	57	職員は、活き活きと働いている (参考項目:10)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
51	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:41)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	58	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
52	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	59	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
53	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「自分らしく 生き生きと いつまでも お元気で」お過ごしいただけるよう、職員一人一人が自発的に考え、毎日の生活に取り入れ、充実した時間を送っていただけるよう、心がけています。	法人の理念を基に作成した事業所の理念に添って年度の目標をみんなで話し合って作成し、随時確認しながら実践に繋がっています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナウイルス感染症の流行により、感染症対策の為、外出や行事への参加は見送っています。	地域の方より枝豆などの差し入れや、入所について聞かれることもあり、可能な限り様々なことで繋がりをもてるようにしています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	地域の方より、声をかけていただいた際は、可能な範囲で対応し、必要な箇所に繋げるようにしています。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	感染症対策の為、前年度より、書面を中心に行っております。近況報告や広報にて、GH内での生活状況をお伝えしています。	報告に対して意見などは少ないものの、感染症対策などについて意見もあり、サービスの向上に活かしています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進委員に行政の方も参加していただいております。また、地域ケア会議に参加し、地域の状況の把握や情報交換に努めております。	事業所の取り組みや、空き情報などについて情報交換しながら、協力関係を築いています。	
6	(5)	○身体拘束及び虐待をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」及び「高齢者虐待防止関連法」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組むとともに、虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束や虐待について、職員一人一人が考え、お互いに、気軽に声に出せる環境作りに努めております。また、定期的にGH内研修や委員会を開催し、疑問に思う事や不信に思う事がないか、確認しあっております。	全職員が拘束に対して認識され、拘束のないケアに取り組んでいます。リスクが伴うようなケースは家族と連携しながら取り組んでいます。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	これまで、制度を利用された事はありませんが、制度を理解するよう努めています。		
8		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は、その場で説明した他に、不明な点や理解が出来なかった点を、気兼ねなく、聞いていただけるよう働きかけています。		
9	(6)	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、要望、苦情等を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、適切に対応するとともに、それらを運営に反映させている	意見箱を準備しておりますが、なかなか記入していただけず事はないです。その為、日々の生活の中での、家族との会話を大事にしています。改まった言葉だけでなく、何気ない会話にヒントがあると考えております。	利用料金の支払いに見えたときには、意見や要望を聞いたり、担当職員との話し合いの場を持つなど運営に反映しています。	
10	(7)	○運営や処遇改善に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営や職場環境、職員育成等の処遇改善に関して、職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを適切に反映させている	感染症対策の為、密を避ける取り組みから、書面にて会議を行っております。言葉では言いにくい事でも、書く事で伝える事ができる場合もあります。その時では、意見は大事にしています。	職員の意見は書面で提出されることもあり、改善された事例もあります。	
11		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	由利本荘・にかほ地区グループホーム連絡協議会に参加し、ネットワーク作りを行う事ができています。また、情報交換も行う事ができています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に、できるだけ、ご本人と会い、話を伺い、不安に感じている事や要望を伺うようにしています。また、それまで、関わったケアマネや周囲の方の意見も伺い、関係作りに繋げています。		
13		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に、可能な範囲で、情報提供を求め、話を伺う事で、サービスへのヒントをいただくようにしています。また、同時に、家族の不安や要望についても伺っております。毎月のお便りや定期的な広報も利用しております。		
14		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	毎日、同じ建屋で生活する中で、職員の身だしなみに声をかけられる場面も見られています。一緒に生活しているしている関係が築かれているように思われます。		
15		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	その方の生活歴や家族関係に配慮し、本人に関係する事は、家族に報告・相談を行い、信頼関係を築いております。		
16	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように、支援に努めている	新型コロナウイルス感染症対策前は、これまで通った床屋や行きつけの所に行ったりされていましたが、現在は、対策が可能な範囲での対応になっています。また、本人から希望があった際は、電話の取次を行っております。	コロナウイルス感染症のため制限されることも多いが、受診時に馴染みの人と会うこともあり、関係性が途切れないように支援しています。	
17		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者間の関係に配慮しながら、食事の席や入浴の順番等を検討しています。「馴染みの関係」で、お互いが穏やかに過ごされている間柄の方々もいます。		
18		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された後、併設する特養に入所されるケースがあり、これまでの家族や本人との関係で、相談や支援をする事もあります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向、心身状態、有する力等の把握に努め、これが困難な場合は、本人本位に検討している	普段の何気ない会話や行動により、本人の希望等を読み取るように努めています。困難な場合は、家族と一緒に検討し、より良い方向に進むよう努めています。	日々一人ひとりの言動把握に努め、潜在的な思いも確認できるよう取り組んでいます。	
20		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ケアマネから入居申込や調査票等を参考にした基本情報をまとめたり、家族からの情報、日常会話の中から、これまでの暮らし方を知るように努めております。		
21	(10)	○チームでつくる個別介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した個別介護計画を作成している	毎月モニタリングを行う他、日常的に個々の介護についての気づきやアイデアを話し合っています。また、その事について、より良い方法を提案し、行ってみる他、本人や家族の意見も反映するよう努めています。	担当職員を中心に情報交換し、アセスメント・モニタリングを繰り返しながら、現状に即した介護計画が作成されています。	
22		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や個別介護計画の見直しに活かしている	ここのケース記録へ毎日の様子等を記録し、日常的に気づいた事を職員間で相談、工夫を行い、結果を共有して介護計画の見直しにも活かすようにしています。		
23		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域ケア会議に参加し、地域資源について把握するよう努めています。		
24	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	以前より、かかりつけ医であった医院(病院)を受診しております。また、状態の変化に応じて、主治医・家族と相談し、適切な対応を行ってくれる医療機関へ紹介状を書いていただく事もあります。初診や緊急時には、家族も同行していただき、一緒に対応を行っています。	毎月全員の回診があります。受診時の情報はケース記録などで共有しています。家族には必要に応じて連絡しています。	
25		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	いつもと違うと感じる時や心配に感じる事があった際は、かかりつけ医の看護師や併設の特養の看護師に相談し、受診に繋げたり、対応するようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院の際は、必要な情報交換を行い、安心して入院生活を送ることができるよう心がけています。また、退院時でもできる限りの情報提供を行っていただけるよう働きかけています。		
27	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時、事業所でできる事について説明を行っています。状態に変化があった際は、その都度、主治医・家族・事業所で話合いを行い、対応を検討し行っています。	事業所の対応方針については全職員で共有されているが、本人・家族の要望により、関係機関と連携しながらの事例はあります。	
28		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事業所内で研修を行い、緊急時や事故発生時、対応できるよう努めております。		
29	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の避難訓練を行っております。非常食も常備し、炊き出し訓練も行っています。	感染症を考慮して、事業所だけの避難訓練を実施しています。非常食での炊き出しも実施、災害に備えています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりにあった、声かけや対応を、常に意識しながら対応しています。また、職員同士で、常に声かけが適切か考えるようにしています。	一人ひとりの生活歴に配慮しながら、日々支援しています。	
31		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人ひとりの好みにあった身だしなみやおしゃれができるよう心がけています。また、家族から伺った情報(昔の事)を大事にしています。		
32	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材をメニューに入れたり、食材の下ごしらえをお願いしたりすることがあります。苦手な食材がある場合は、代替を準備し、楽しく食事ができるよう心がけています。	訪問当日は、利用者の希望に答えたおはぎの昼食でした。外食が難しい現状により、知り合いの食堂より出前をとることもあります。	
33		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は栄養士が管理し、バランスのとれた食事になるよう心がけています。水分が不足気味の方には、さりげなく声かけを行い、飲んでいただけるよう働きかけています。また、本人に合わせた物を提供しています。		
34		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの状態に応じて、その方にあった物を使用するようにしています。毎食度、口腔ケアを行うようにしています。		
35	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用しながら、定時誘導・訴え時等、その方の状態に応じて対応しています。	夜間と日中、用品の種類やサイズなど使い分けて全員使用しています。他の利用者に配慮しながらの声かけ誘導によりトイレ介助を実施しています。	
36		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、できるだけ、テレビ体操を行うように働きかえています。また、便通に良い食材を取り入れるようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	定期的に入浴を計画しています。また、気の合った方同士、会話をしながら、一緒に入れるような計画をしています。	一人ひとりの希望する湯温で週に2～3回入浴していただいています。	
38		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりのペースに合わせて、居室へ行かれたり、食堂にて休まれたりされています。夜眠れない方には、日中、活動的に過ごしていただくなど、工夫をしています。		
39		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとり、処方されている内服薬の一覧表を常に確認できるようにしています。また、理解できない事は、薬剤師や協力医師に相談しています。		
40		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家族から情報をいただき、できる事や好む物を楽しんでいただけるようにしています。中には、編み物をされたり、クロスワードをされている方もいます。		
41	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	新型コロナウイルス感染症対策の為、外出を自粛している事もあり、希望に沿った対応が十分ではなかったと思っています。その為、少しでも、気分転換になればと、地元のお店から出前を取って、懐かしんでいただいています。今年は、久々に桜を見に行く事ができ、良かったです。	隣接の保育園の運動会を観覧するなど、出来るだけ外気に触れる機会をつくっています。	
42		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人や家族と相談し、自己管理を希望される方は、少額の金額を管理していただいています。		
43	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂や玄関には、植物や花を飾り、家庭的な雰囲気作りを心がけています。自然の明るさや季節感を感じていただけるようにしています。複数個所にソファを置き、その時の気分でも過ごしていただけるよう配慮しています。	利用者の家族が定期的に届けていただく花を飾ったり、廊下に設置しているソファは利用者同士や職員との談笑の場となっています。また、廊下には季節々の花の写真が掲示しており心地よい空間となっています。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下にソファを置き、好きな場所で気の合った方と座れるようにしています。1人の時間や気の合った方同士、ゆっくりと過ごされているようです。		
45	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の協力により、自宅で使用していた物をお持ちいただいています。家具類や小物など、本人に沿った配置にしており、個々の生活スペースが作られています。	家族の写真や遺影・位牌なども祀られている利用者もあり、一人ひとりの生活に添った居室となっています。	
46		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室やトイレ等、間違わないよう、表示しています。(居室は希望)歩行器やシルバーカー等、本人の状況に応じて使用し、安全に移動できるようにしています。		